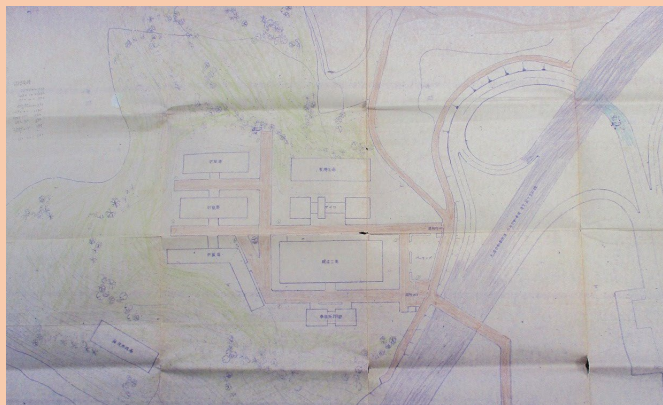


## 相模原市立公文書館第28回企画展



① サントリー原酒工場平面図（吉野地区）S41 年



②カ道山の残したゴルフ場計画（レークサイドカントリークラブ）



③京王帝都電鉄の相模湖ターミナル  
計画図（S41 年）

開催期間・時間

令和8年 2月 3日(火)～4月 17日(金)  
午前8時45分～午後5時

◇休館日／土・日曜日、祝日（なお、講演会・トーク・トークの開催日は開館）

◇第11回 公文書館講演会 令和8年3月7日(土) 午後2時～4時  
「間の山（あいのやま）の歴史変遷と開発経過」 正覚寺前住職 山田正法氏（元市文化財審議会委員）

◇公文書館トーク・トーク（展示解説）開催日／令和8年2月14日(土)、3月28日(土) 午後2時～3時

相模原市立公文書館 相模原市緑区久保沢 1-3-1／電話 042(783)8053

幻の昭和の開発事業

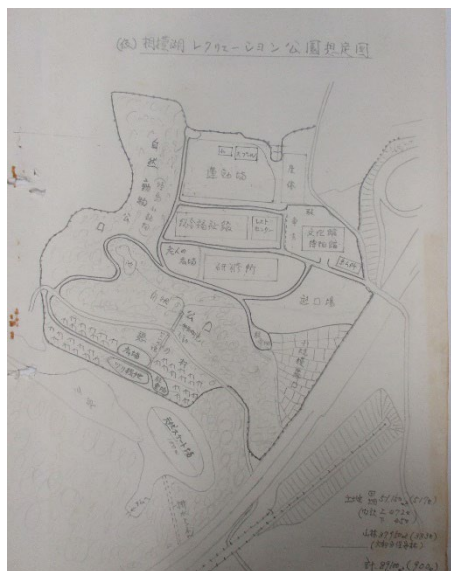
— 相模湖・藤野地域 —

相模湖の誕生から東京オリンピックの開催、中央自動車道の開通などの影響で、昭和20年代から40年代にかけて、相模湖・藤野地域では多くの開発事業が計画されました。その中でも幻に終わった開発計画、紆余曲折を経て引き継がれている観光開発など3件を取りあげ、歴史的公文書を通してその経緯をたどります。

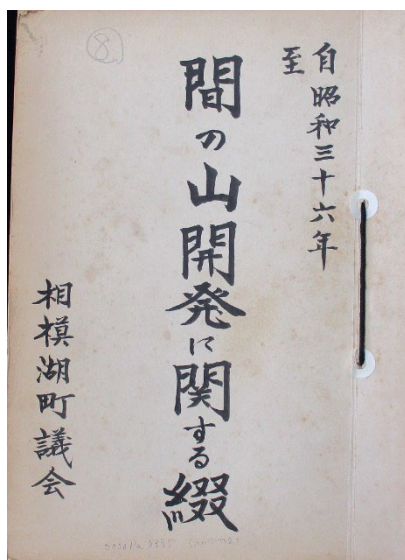
## 展示概要

旧藤野町吉野地区にサントリーの原酒工場の建設計画（現在のふじのマレットゴルフ場）、旧相模湖町「間の山」（あいのやま）に力道山によるゴルフ場建設計画（現在のさがみ湖 MORIMORI）、同町与瀬地区に京王帝都電鉄の観光施設の計画（現在の北相中学校付近）がありました。いずれも実現しなかった計画ですが、同じような時期に計画された幻の3つの計画を取り上げ、歴史的公文書を通して、経緯や結果を確認していきます。

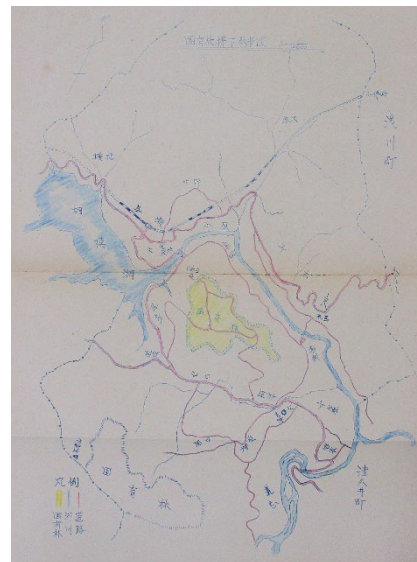
なお、展示資料のご利用については、企画展終了後の対応とさせていただきます。



（仮）相模湖レクリエーション公園想定図「吉野地区の土地利用計画について」昭和49年4月24日『サントリーKK計画書関係』2021E a0299



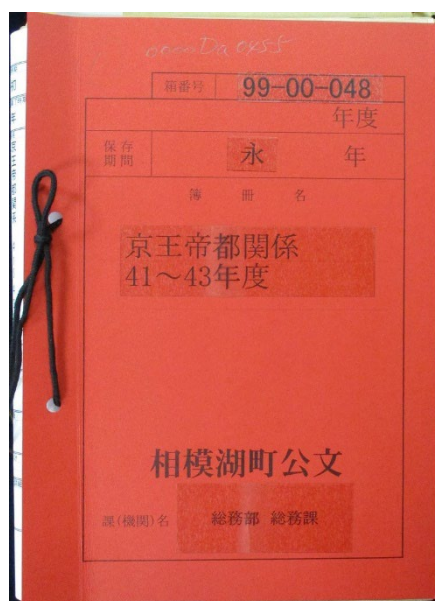
『間の山開発に関する綴』（昭和36年）0000D a0395



「国有林松下参考図」『国有林松下請願関係』（昭和30～31年）0000D a0392



「相模湖ピクニックランド鳥瞰図」（個人蔵）（昭和47年開園）



『京王帝都関係』（昭和41～43年度）0000Da0455



「専売公社敷地 計画地平面図」『京王帝都関係』0000Da0455